



「逆鱗にふれる」という言葉をご存知でしょうか。

「逆鱗」は「げきりん」と読みます。目上の人を怒りを買うような行為をした場合に使われる表現です。

逆鱗とは龍の81枚の鱗のうち、あごの下に直径一尺の一枚だけ逆さに生える鱗のことをいいます。龍はこれに触れられることを非常に嫌い、触れられると激高し触れた者を必ず殺すとされている伝説があります。ここから「逆鱗」は触れてはならないものを表現する言葉となり、古来では天子の怒り、現代では目上の人を怒りを表す言葉に転じてきました。出典「韓非子」

第54回りんどう祭の龍は、わかりづらいかも知れませんが、ちょっと遠慮気味に「逆鱗」をつけてみました。